

第7回地域連携フォーラム・シンポジウム概要

1. 主催

主催：文教大学大学院人間科学研究科

2. 日時・場所

日時：2020年1月11日（土） 13：30～16：30

場所：文教大学越谷キャンパス 13号館 2階 13201教室

3. テーマ

子ども・若者が育つ「すき間」の作り方
～地域を<教育>で埋め尽くさないために～

4. 企画趣旨

子ども・若者の生育環境の変化を背景に、放課後等における地域の子ども・若者支援に関する施策が展開されている。しかし、こうした施策によって地域を教育的に再編していくことは、子ども・若者を「支援される」存在に固定してしまい、本当の意味で地域に主体的に活動する余地を奪ってしまう危険性も持っているのではないだろうか。本フォーラムでは、こうした問題意識のもと、地域の中に子ども・若者の成長の土壌となるような「すき間」をいかに作りうるかについて考える。

5. シンポジウムの構成

(1)開会挨拶 布柴 靖枝（文教大学大学院人間科学研究科長）

(2)進行役・趣旨説明 青山 鉄兵（文教大学人間科学部）

(3)テーマ 各地の現場から考える子ども・若者の「すき間」の作り方

①矢生 秀仁（こども環境デザイン研究所）

子ども・若者の「遊び」と「すき間」～越谷における放課後活動の現場から～

②井口 啓太郎（文部科学省）

子ども・若者の「居場所」と「すき間」～国立市公民館の「コーヒーハウス」の現場から～

③両角 達平（文教大学生生活科学研究科）

子ども・若者の「社会参加」と「すき間」～スウェーデンのユースワークの現場から～

(4)トーク&ディスカッション

(5)閉会挨拶 谷口 清（文教大学人間科学部）

報告書はこちら

https://www.bunkyo.ac.jp/faculty/human-in/wp-content/uploads/2022/09/rcf_07_overview.pdf